

平成29年度 横浜修悠館高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

	項目と目標	実施結果と達成状況
1	法令順守意識の向上（公務外非行） 公務外であれ教育公務員としての自覚を忘れず、県民からの信頼を損なわない	個々人が常に教育公務員の立場を意識するためには、職場での仲間意識や孤立しない人間関係が必要であるとして、様々な機会を利用し職員の意識に浸透させ、良好な職場の雰囲気構築し、公務外非行等の防止に努めた。
2	わいせつ・セクハラ行為の防止 わいせつ・セクハラ行為の根絶	生徒、教職員間のセクシャル・ハラスメントの防止や、教職員によるわいせつ行為を根絶するため、風通しのよい職場環境および良好な人間関係の構築に努めるとともに、SNS等の不適切使用防止に努めた。
3	体罰、不適切指導、パワー・ハラスメント 体罰やパワー・ハラスメントの防止と適切な生徒指導に努める	体罰や不適切指導が発生しないよう、日頃の指導に努めた。 そして、生徒や保護者からの問い合わせ等に丁寧に対応し、教員が保護者や生徒と良好な人間関係を構築するように指導するとともに、生徒の健全育成を目指した生徒指導方針を堅持した。
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成および送付にかかわる事故を絶対に起こさない	成績処理作業の年間スケジュールを明示し、それぞれの作業のタイムログで、事故防止策を含めた作業マニュアルの周知徹底を行い、ミスなく遂行することができた。進路関係書類の作成等に関しては、チェックリスト手順を遵守し、適正に処理することができた。入学者選抜の作業開始前にマニュアルの手順を確認し、マニュアルに示された手順どおりの作業遂行の徹底を図り、業務上の情報共有や相互チェック体制の強化に努め、事故発生防止に努めた。
5	個人情報等管理・情報セキュリティ対策 個人情報の適切な取扱いに努める	個人情報の適切な取扱いを図るため、個人情報取扱マニュアルの遵守を徹底し、チェックリストによる点検を実施した。 また、12月には生徒の個人情報の適切な取扱いにかかる緊急点検等を行った。 学校所有USBメモリー以外の外部媒体の利用の完全禁止と及び持ち出しに関するルール徹底を行い、事故発生防止に努めた。
6	業務執行体制の確保等 業務執行体制を確保し、共有と協力を進め、事故を未然に防止する	グループや教科を越えた業務協力体制を構築し、業務上の情報共有や相互チェック体制を強化することに務め、成績処理や調査書発行等業務に一定の成果をあげることができたが、協力体制が万全とは言い難い。さらなる工夫を行うこととしたい。
7	経理処理（公費・私費・現金管理） 適切で公正な予算編成と執行に努める	平成29年度について、適切な予算執行に努めた。また、関係方面と適切に調整を行い、平成30年度の私費徴収額の増額を決定した。次年度予算について、適正な編成に努めることとしたい。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

プログラムは概ね達成できたが、ヒューマンエラーは必ず起きることを肝に銘じ、事故を未然に防止する業務執行体制を確立することとしたい。